

# ポリオレフィン時報

THE POLYOLEFIN TIMES www.poj-news.net

2015年1月17日 (第2070号) 毎月7・17・27日発行

発行所  
株式会社 ポリオレフィン時報社  
発行人 若林良行  
大阪市中央区北久宝寺町1-5-3-403  
電話 050-1002-2367 F A X 06(6263)8230  
東京都渋谷区代々木5-47-3-201  
電話 050-1100-7044 F A X 03(6407)2033  
購読料(消費税・送料込み)  
1部400円 6ヵ月7,020円 1年14,040円  
振替口座番号 00930-5-10174  
昭和32年3月25日 第3種郵便物認可

6-6011  
ザカズ

イン 時報 2015年(平成27年) 1月17日(土曜日)

## 超大型サイズ発売

アソー「ハイクリーンポリ規格袋」

大阪・医薬品展に出展へ

無添加ポリエチレンフィルムによる各種包材を製造販売しているアソー(株)(大阪市東淀川区豊里6-10-3、電話06-6326-5080)は、

同社の「ASOハイクリーンポリ規格袋」シリーズに、11号(幅1000mm×長さ1800mm、厚さ0.1mm)の大型サイズを加え、今春から販売を開始する。

新製品は、同社のハイクリーン規格袋の中でも最大サイズで、容量の目安は200kg。これまで別注品として対応していたが、広幅ということもあり、ロットや納期面で利用しにくい面があった。

このほど規格袋に加わったことでユーザーは1箱30枚入り(10枚密封×3束)の小ロット購入が可能となるほか、より短納期が可能になる。

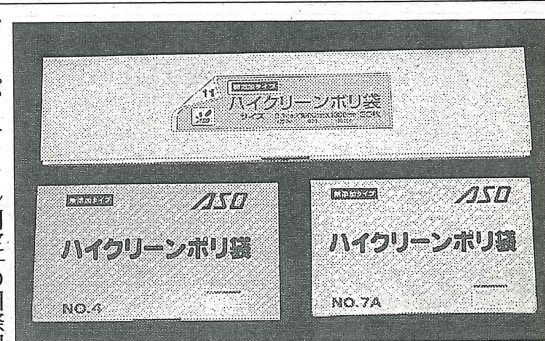
新製品の追加で同規格袋のサイズは、1500×2500mm〜1000×1800mmまでの16種類となった。

ハイクリーンポリ規格袋は、パーティクル発生を極めて少ない厳選された無添加原料を使用するとともに、同社本社工場の「清浄度ISOクラス6(クラス1000)」のクリーンルームで生産されている。

問題となる袋内面のパーティクルの品質管理は、同社においてロットごとにパーティクル測定を行い、袋の内面の微粒を管理している。

これまで医薬品や医薬品中間体直接包装を中心に医療機器、半導体ウエハーや電子部品などの包装用途で利用されているほか、クリーンルームで

着用するウェアの洗浄後の納品や、クリーンルーム清掃時の養生カバーなど、クリーンルームに付随する用途で利用されているという。同社では、さらに幅広い用途に向けて需要開拓を進めている。



ハイクリーンポリ規格袋。上が新製品の11号

微量なのが特長。一方、取得規格についても日本薬局方をはじめ米USP 33、34ならびにFDA規格、欧州規格(EP)、Open Pa、macopo、(eia)など袋をはじめとする同社の各種クリーン製品は、2月4日から6日までインテックス大阪(大阪市住之江区)で開かれるインターフェックス大阪(医薬品・化粧品・洗剤)の「研究開発・製造技術国際展」の同社ブースで主要ラインナップすべての展示が予定されている。

ごとにパーティクル測定を行い、袋の内面の微粒を管理している。子(粒径2〜40ミクロン)を管理して品質維持に努めているという。それにより通常のポリエチレン袋に比べて、微細なパーティクルが桁違いに